

## 平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成25年10月28日

上場会社名 JSR株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 4185 URL http://www.jsr.co.jp  
 代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 小柴 満信  
 問合せ先責任者 (役職名) 広報部長 (氏名) 小島 昌尚 TEL (03)6218-3517  
 四半期報告書提出予定日 平成25年11月8日 配当支払開始予定日 平成25年11月27日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 有  
 四半期決算説明会開催の有無： 有 (機関投資家、アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成26年3月期第2四半期の連結業績（平成25年4月1日～平成25年9月30日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	188,785	3.4	17,847	4.6	20,380	3.2	13,147	△3.5
25年3月期第2四半期	182,574	7.2	17,057	△12.4	19,748	△3.4	13,622	17.3

(注) 包括利益 26年3月期第2四半期 18,310百万円 (72.8%) 25年3月期第2四半期 10,598百万円 (13.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第2四半期	55.37	55.24
25年3月期第2四半期	56.47	56.35

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年3月期第2四半期	473,185	330,011	68.4	1,362.05
25年3月期	482,935	315,733	63.9	1,299.77

(参考) 自己資本 26年3月期第2四半期 323,436百万円 25年3月期 308,641百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	17.00	—	17.00	34.00
26年3月期	—	19.00			
26年3月期（予想）			—	19.00	38.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

### 3. 平成26年3月期の連結業績予想（平成25年4月1日～平成26年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	400,000	7.7	37,000	5.1	40,000	△8.0	26,500	△12.5	111.60

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無  
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有  
詳細は添付資料P. 3「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（1）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	26年3月期2Q	237,973,205株	25年3月期	237,973,205株
② 期末自己株式数	26年3月期2Q	509,668株	25年3月期	515,440株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	26年3月期2Q	237,458,672株	25年3月期2Q	241,244,756株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（2）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（決算補足説明資料の入手方法）

平成25年10月28日（月）に、決算説明資料を当社ホームページに掲載いたします。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 .....	3
(1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(セグメント情報等) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間(平成25年4月1日から平成25年9月30日)の概況

当社グループの主要な需要業界におきましては、自動車の生産は、中国及び北米では前年同期を上回って好調に推移しましたが、日本では前年のエコカー補助金特需の反動により前年同期を下回りました。自動車タイヤの生産は、日本では、期間の後半にかけて回復してきたものの、期間全体では前年同期並みの水準にとどまりました。

半導体市場は、スマートフォンや多機能携帯端末向けは好調でしたが、パソコン向けは低調に推移しました。フラットパネル・ディスプレイ(FPD)の生産は、主要パネルメーカーの稼働が回復し、前年同期の水準を上回って推移しました。

このような状況のもと、当社グループは、石油化学系事業では、技術的に優位性を持つ製品の能力増強とグローバルな拡販を展開し、情報電子材料を中心とした多角化事業では、半導体最先端技術に対応した素材への注力、モバイル向けディスプレイ材料の拡販等を推進してまいりました。

当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高は1,887億85百万円(前年同期比3.4%増)、営業利益178億47百万円(同4.6%増)、経常利益203億80百万円(同3.2%増)、四半期純利益131億47百万円(同3.5%減)となりました。

(単位:百万円)

区分	前第2四半期 連結累計期間		当第2四半期 連結累計期間		増減	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	比率
売上高						
エラストマー事業	96,007	52.6%	96,408	51.1%	400	0.4%
合成樹脂事業	25,760	14.1%	26,491	14.0%	731	2.8%
多角化事業	60,807	33.3%	65,886	34.9%	5,078	8.4%
合計	182,574	100.0%	188,785	100.0%	6,211	3.4%
国内売上高	98,176	53.8%	92,734	49.1%	△5,442	△5.5%
海外売上高	84,397	46.2%	96,051	50.9%	11,653	13.8%
区分	前第2四半期 連結累計期間		当第2四半期 連結累計期間		増減	
	金額	売上高比	金額	売上高比	金額	比率
営業利益	17,057	9.3%	17,847	9.5%	789	4.6%
経常利益	19,748	10.8%	20,380	10.8%	631	3.2%
四半期純利益	13,622	7.5%	13,147	7.0%	△474	△3.5%

## (部門別の概況)

## ① エラストマー事業部門

合成ゴムの販売につきましては、日本では前年同期のエコカー補助金による特需の反動により販売数量は前年同期を下回りましたが、海外向けは顧客の稼働の回復などにより販売数量は前年同期を上回り、全体の売上高は前年同期並みとなりました。利益は定期修繕費用などのコストの削減により、前年同期を上回りました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間のエラストマー事業部門の売上高は前年同期比0.4%増の964億8百万円、営業利益は前年同期比9.1%増の85億67百万円となりました。

## ② 合成樹脂事業部門

合成樹脂の販売につきましては、日本では自動車向けの需要が低迷し販売数量が減少しましたが、海外では、自動車向けの数量増加に円安の効果も加わり、全体の売上高は前年同期を上回りました。利益は、売上高の増加に加えて、主要原料価格上昇に対応した販売価格改定などにより、前年同期を上回りました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の合成樹脂事業部門の売上高は前年同期比2.8%増の264億91百万円、営業利益は前年同期比30.8%増の18億75百万円となりました。

## ③ 多角化事業部門

半導体材料の販売につきましては、スマートフォンや多機能携帯端末向けの需要は堅調に推移したものの、パソコン用の需要低迷が継続し、売上高は前年同期並みでした。

フラットパネル・ディスプレイ材料の販売につきましては、主要パネルメーカーの生産の回復に、円安の効果が加わり、売上高は前年同期を上回りました。

精密材料・加工事業の販売につきましては、タッチパネル用透明導電性フィルム(ITOフィルム)の販売は増加したものの、スマートフォンや多機能携帯端末向けの耐熱透明樹脂「アトン®」の位相差フィルムの出荷が伸びず、売上高は前年同期をやや下回りました。

そのほか、最先端分野への投資負担が利益の圧迫要因となりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の多角化事業部門の売上高は前年同期比8.4%増の658億86百万円、営業利益は前年同期比4.8%減の74億4百万円となりました。

## (2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2013年度下期の当社グループの主要な需要業界におきましては、自動車タイヤの生産は回復に向かうと予想されますが、半導体市場の低迷は継続し、回復はやや先になると見込まれます。加えて、FPDパネルメーカーの生産調整も懸念されます。

このような状況の下、当社といたしましては、エラストマー事業におきましては、低燃費タイヤ用ゴムの販売拡大、多角化事業におきましては、最先端世代のリソグラフィ材料の販売拡大や、モバイル向けディスプレイ材料の拡充に努め、収益の確保を図ってまいります。

通期の連結業績予想につきましては、足元の経営環境を踏まえて、平成25年4月24日に公表いたしました連結業績予想を変更し、売上高4,000億円(前期比7.7%増)、営業利益370億円(前期比5.1%増)、経常利益400億円(前期比8.0%減)、当期純利益265億円(前期比12.5%減)といたしました。

## (通期業績予想)

	今回予想(A)	前回予想(B)	増減額(A-B)	増減率
売上高	4,000億円	4,150億円	△150億円	△3.6%
営業利益	370億円	430億円	△60億円	△14.0%
経常利益	400億円	470億円	△70億円	△14.9%
当期純利益	265億円	315億円	△50億円	△15.9%

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

## (1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

## (税金費用の計算)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位: 百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	32,190	35,864
受取手形及び売掛金(純額)	91,511	78,477
有価証券	79,412	79,963
たな卸資産	74,687	79,680
その他	42,617	29,580
流動資産合計	320,419	303,566
固定資産		
有形固定資産	93,205	94,074
無形固定資産	6,309	6,733
投資その他の資産		
投資有価証券	50,531	57,747
その他	12,469	11,062
投資その他の資産合計	63,001	68,810
固定資産合計	162,516	169,618
資産合計	482,935	473,185
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	97,225	72,766
短期借入金	14,210	14,106
未払法人税等	6,888	7,081
その他	23,521	21,654
流動負債合計	141,846	115,609
固定負債		
長期借入金	6,625	7,854
退職給付引当金	15,211	15,019
その他	3,518	4,692
固定負債合計	25,355	27,565
負債合計	167,201	143,174
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	23,320	23,320
資本剰余金	25,179	25,179
利益剰余金	253,009	262,125
自己株式	△930	△920
株主資本合計	300,577	309,704
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	8,470	11,025
為替換算調整勘定	△407	2,707
その他の包括利益累計額合計	8,063	13,732
新株予約権	728	757
少数株主持分	6,364	5,816
純資産合計	315,733	330,011
負債純資産合計	482,935	473,185

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
売上高	182,574	188,785
売上原価	137,161	140,028
売上総利益	45,413	48,756
販売費及び一般管理費	28,355	30,909
営業利益	17,057	17,847
営業外収益		
為替差益	—	593
持分法による投資利益	2,707	1,429
その他	928	879
営業外収益合計	3,636	2,903
営業外費用		
為替差損	367	—
その他	577	370
営業外費用合計	945	370
経常利益	19,748	20,380
特別損失		
たな卸資産廃棄損	—	241
投資有価証券評価損	305	135
その他	—	23
特別損失合計	305	401
税金等調整前四半期純利益	19,443	19,979
法人税等	5,811	7,276
少数株主損益調整前四半期純利益	13,631	12,703
少数株主利益又は少数株主損失(△)	9	△444
四半期純利益	13,622	13,147

(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	13,631	12,703
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,662	2,563
為替換算調整勘定	△1,470	2,197
持分法適用会社に対する持分相当額	99	846
その他の包括利益合計	△3,033	5,606
四半期包括利益	10,598	18,310
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	10,817	18,816
少数株主に係る四半期包括利益	△218	△506



## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	19,443	19,979
減価償却費	8,595	8,576
受取利息及び受取配当金	△408	△445
支払利息	67	55
持分法による投資損益(△は益)	△2,707	△1,429
売上債権の増減額(△は増加)	93	14,426
たな卸資産の増減額(△は増加)	△6,226	△3,907
仕入債務の増減額(△は減少)	10,982	△26,048
その他	2,255	13,030
小計	32,096	24,237
利息及び配当金の受取額	804	858
利息の支払額	△61	△47
法人税等の支払額	△6,626	△6,915
営業活動によるキャッシュ・フロー	26,212	18,132
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の増減額(△は増加)	0	8,499
有価証券の増減額(△は増加)	△21,500	15,500
固定資産の取得による支出	△12,302	△12,541
投資有価証券の取得による支出	△231	△654
関係会社株式の取得による支出	—	△834
貸付けによる支出	△764	△1,326
貸付金の回収による収入	1,621	1,067
その他	44	109
投資活動によるキャッシュ・フロー	△33,132	9,820
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△1,284	△124
長期借入れによる収入	2,574	940
配当金の支払額	△3,859	△3,938
少数株主への配当金の支払額	△13	△40
その他	△7	△8
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,590	△3,171
現金及び現金同等物に係る換算差額	△513	943
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△10,023	25,725
現金及び現金同等物の期首残高	67,198	53,818
連結の範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	5,983	—
現金及び現金同等物の四半期末残高	63,157	79,543

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 当第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント				調整額 (百万円)	四半期連結 損益計算書 計上額 (百万円)
	エラストマー 事業 (百万円)	合成樹脂事業 (百万円)	多角化事業 (百万円)	計 (百万円)		
売上高						
外部顧客への売上高	96,408	26,491	65,886	188,785	—	188,785
セグメント間の内部売上高 又は振替高	2,025	—	—	2,025	△2,025	—
計	98,433	26,491	65,886	190,810	△2,025	188,785
セグメント利益(営業利益)	8,567	1,875	7,404	17,847	—	17,847

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

報告セグメントの利益の金額の合計額と四半期連結損益計算書の営業利益は一致しております。

II 前第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント				調整額 (百万円)	四半期連結 損益計算書 計上額 (百万円)
	エラストマー 事業 (百万円)	合成樹脂事業 (百万円)	多角化事業 (百万円)	計 (百万円)		
売上高						
外部顧客への売上高	96,007	25,760	60,807	182,574	—	182,574
セグメント間の内部売上高 又は振替高	3,154	—	—	3,154	△3,154	—
計	99,161	25,760	60,807	185,729	△3,154	182,574
セグメント利益(営業利益)	7,849	1,433	7,774	17,057	—	17,057

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

報告セグメントの利益の金額の合計額と四半期連結損益計算書の営業利益は一致しております。